



祝 辞

文部科学大臣 柴山昌彦
 (文部科学省初等中等教育局
 教育課程課長 望月 禎)

第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会が、多数のご参加の下、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

まず最初に、この度の北海道胆振東部地震により被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

ご出席の皆様方には、日頃から小学校教育の充実・発展に多大なるご尽力を頂いておりますことに感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

近年、社会は大きく変化しており、今後、人工知能の飛躍的な進化等により、社会や職業の在り方そのものが大きく変化する可能性があることも指摘されています。

これからの教育においては、こうした将来の変化を予測することが困難な時代を、たくましく、しなやかに生きていく力を育てていくことが重要です。

そのため、文部科学省では昨年3月に幼稚園の教育要領、また同年3月に小学校及び中学校の学習指導要領、本年3月に高等学校の学習指導要領を改訂し、これからの時代に求められる資質・能力を明確にするとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を通して、子どもたちの理解の質を深めることなどを目指しております。2020年度の次期学習指導要領の全面実施に向けて、必要な取組を総合的に実施してまいります。

また、学校における働き方改革については、中

央教育審議会における議論を踏まえ、文部科学省として取り組む「学校における働き方改革緊急対策」を策定し、本年2月に各都道府県、政令指定都市教育委員会へ通知いたしました。学校における働き方を見直し、限られた時間の中で教師の専門性を生かしつつ、授業や授業準備、研修の時間や、児童生徒と向き合うための時間を十分確保できるよう、取組の徹底をお願いいたします。

本日、全国より校長の皆様方が一堂に会し、小学校教育の一層の向上に資するため、「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を主題として開催される本研究協議会の意義は、大変大きいものと考えます。

本大会が所期の目的を達成し、多大な成果が得られることを期待いたしますとともに、本大会を主催される全国連合小学校長会のますますのご発展と、本日ご出席の皆様の一層のご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。